

今議会に、議員定数を現在の18人から16人に減員する条例変更が、議員発議によって提出されましたが、否決することができました。

今回の議員定数削減は、半年をかけて議会運営委員会で検討されてきた案件ですが、その検討は、議員削減と議員報酬のUPがセットで議論されてきたものです。

議事録を紹介すると、『瀬戸内市民の会は、16人にして、報酬45万、政務活動費なしです。今の現状、給料を上げたいがための定数の削減というのは、余り言わないほうがいいんじゃないかと。あくまでも16人にして、給料は少し上げてもらって、若い人が出やすくするという形をいったほうがいいんじゃないかなという意見はありました。』との発言があります。

私は、これ以上の議員定数の削減には反対です。

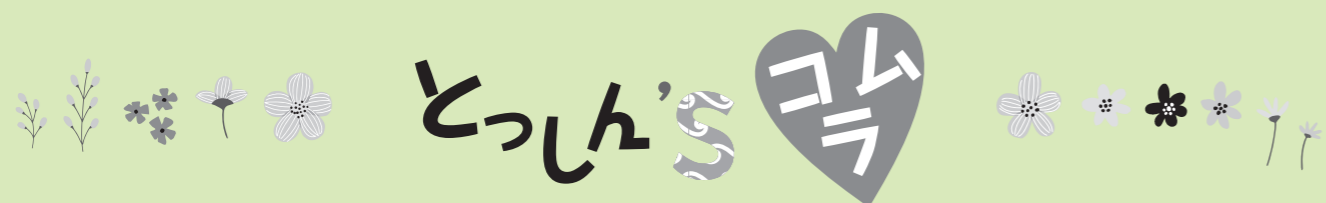
現在、近隣市の動向をみると、浅口市・備前市が16人、赤磐市・高梁市・新見市・美作市が18人です。16人にする根拠がありませんし、16人にした市は議会運営に困っているという話も聞きます。

定数削減は見栄えは良いかもしれませんが、地域の声が届かなくなると思います。議員定数は、削減すればする程、投票率は低下します。立候補できない地域が生まれ、関心が低くなるからだと思います。定数を削減すればする程、議会不要と考える人が増え、議員が身近にいない地域は関心が薄れていってしまいますし、議員がいない地域はどうしても放られてしまうと思います。

議員に求められているのは、定数を何人削減したという手柄を求めるのではなく、市民に議会の意味、議員の必要性をもっと理解してもらうことではないでしょうか。様々な課題を抱えた地域の声や、各界各層の様々な声を議会に届け、そして議会から発信することこそが、議会の役目と考えています。

提出者

| 議案名 | 議決年月日 | 採決結果 | 日本共産党瀬戸内市議団 | | 改革 | | | | 公明党瀬戸内市議団 | | 県議会 | | 瀬戸内市民の会 | | 創派クラブ | | 無党派 | | 賛成 | 反対 | |
|-------------------------------------|---------|------|-------------|-------|------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|------|-------|-------|----|----|-------|
| | | | 厚東 晃央 | 島津 幸枝 | 廣田 均 | 小谷 和志 | 日下 敏久 | 石原 芳高 | 河本 裕志 | 高岡 直美 | 角口 準一 | 布野 浩子 | 小野田 光 | 原野 健一 | 平原 順二 | 竹原 幹 | 日下 俊子 | 岡 國太郎 | | | 室崎 臨海 |
| 発議第5号 瀬戸内市議会議員定数条例の一部を改正することについて | R2.3.17 | 否決 | ● | ● | ○ | 欠 | 一 | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | 欠 | 5 | 9 |



コロナウイルスで、なんだか閉塞感に包まれた、今日この頃ですね。

そんな中で愛媛県からの、新型コロナウイルス感染症の状況報告が素晴らしいと話題になっています。

【未知のウイルスで姿が見えないため、県民の皆様にとって不安や恐れのお気持ちはあろうかと思いますが、こうした方々やその関係者の方々も、我々と同じ普通の県民であることに一切変わりはありません。なにとぞ、こうした方々やその関係者を、地域社会や人の輪から遠ざけるようなことはせず、むしろ「大変だったね」と声をかけていただきたいと思います。】

私たちが西日本豪雨災害で学んだのは、人の絆の強さであり、大切さです。ウイルスを過度に恐れ、地域で共に生きる方々を攻撃・排除したり、傷つけたりするのではなく、むしろ今こそ他人を思いやり、皆で手を取り合って、この不安と危機に対処していきましょう。】

というものです。

分かりやすくまとめられていて、不安を抑えつつ人々の絆と強さを信じている、素晴らしいメッセージだと思います。そしてまさにその通りだと思います。今は、今できることを普通に、そして坦々と過ごしていくことが、一番大切だと思います。この状態が、一日も早く落ち着き、平常の生活に戻ることができることを、ただただ願うばかりです。

目には若葉、本当にさわやかな季節になりました。私は、7年目最後となる予算議会(2月議会)を終えました。今議会は、1年の予算を審議する大切な議会ですが、世の中は新型コロナウイルス感染症で、閉塞感に包まれています。

予算につきましては、後ほど説明させていただいておりますので、お読みください。

今後も、しっかり取り組んでまいります。

皆さまには本当にいつも、温かく見守っていただき、そして励ましていただき本当にありがとうございます。

私はいつも、皆さまの声を市政に届けていきたい、その思いです。その思いは、今もこれからも変わることはありません。

引き続き力強いご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

地元【油杉お大師堂】



今回の一般質問

- (1) 国府小学校の長寿命化について
- (2) 庁舎再編について

を取り上げさせていただきました。

2020年 山陽新聞 東備版に 2月29日 掲載されました。

日下俊子氏が庁舎再編の短期計画について質問。総務部長が、長年借地だった本庁西庁舎の用地取得のめどが立ったことを報告。西庁舎改修による保健福祉部移転を検討に加えると答弁した。従来計画は、保健福祉部と支所は、ゆめトピア敷地内に建てる。仮庁舎に移転。公民館をゆめトピア内に移転。旧長船町商工会駐車場跡地に長船消防分駐所を新築という内容。新たな案の調査・検討に向け、関連事業費560万円を盛り込んでいる。

(1) 国府小学校の長寿命化について

国府小学校については、2回続けた質問となりました。令和2年から令和5年度末にかけて、2期に分けての大規模改修工事となります。

まず、スケジュールに関しては、念願だった未使用のプールの解体が、今年行われます。

令和3年早々に、仮設校舎となるプレハブが設置されます。令和3年夏から令和5年秋にかけて改修工事が行われます。

12億7千万円もの予算をかけて、工事が行われる時にこそ、学校の課題である支援学級不足を解消するため、増築すべきではないかというのが、私の主張です。

今回、教育次長から、「現在の基本設計の多目的教室を四つに仕切ると、一つの教室の面積が狭くなるため、再度検討を進める。」とうれしい回答をもらうことができました。

そして、学校と地域は、連携して子どもたちを育てている、いい関係にあります。工事については、保護者だけでなく、地元にもきちんと説明をして欲しいということもお願いしました。

教育次長から、「地元へも説明したい。」との回答ももらうことができました。

令和2年4月15日発行
発行責任者 瀬戸内市議会議員

くさか としこ

〒701-4273
瀬戸内市長船町磯上 569
TEL/FAX 0869-26-6420
携帯 TEL 090-5702-8336
ホームページ



http://www.kusaka-toshiko.jp/

一般質問のつづき…

(2) 庁舎再編について

市は、去年の12.9の総務文教委員会までは、瀬戸内市庁舎再編計画基本構想に基づいたゆめトピア長船仮庁舎案の説明でした。

それが、青天の霹靂、令和2年1.8の総務文教委員会にあまりにも唐突に、保健福祉部仮庁舎を再検討して、邑久の本庁への保健福祉部統合案がでてきたわけです。計画の二転三転に、とまどっています。

予算から見ていくと、

H29年 瀬戸内市庁舎再編計画基本構想策定業務に、594万円

H30年 長船支所および周辺施設整備基本計画および基本設計策定業務に、1,209万円

H30年 地質調査業務に、508万円

H31年 保健福祉部仮庁舎新築実施設計業務に、1,077万円

もの費用をかけて、ここまでできていたわけです。

万が一にも、保健福祉部仮庁舎を見直すとなると、かなりの予算を捨てることとなります。その上、今回ゆめトピア長船保健福祉部仮庁舎案と本庁保健福祉部統合案の検討予算として、新たに560万円が追加されました。

くさかとしこの主張：

私は長船の住人ですが、長船と邑久と牛窓の対等合併の条件が、長船には保健福祉部・牛窓には教育委員会を置くのが条件だったと聞いています。

なのに、長船は長船町公民館をつぶされ、牛窓町公民館は耐震してもらい、教育委員会は牛窓のままで、牛窓支所は改修予定です。

そして、長船は保健福祉部までもっていかれ何も残らないというのは、あまりにも不公平だという不満の種がふつふつと沸き上がっているのが、聞こえませんか。

長船町公民館をゆめトピア長船に入れることから始まって、ところてん方式に次々と押し出されているわけです。万が一にも長船町公民館が耐震出来たら、すべての仮が必要なくなり、最終形を決めるまで無駄なお金を使わずに済むと思うのですが、検討にいられて欲しいと市長にお願いしました。

『それは、現実的な話ではない。乱暴なことをするつもりもないし、長船の方々のことを無視するつもりもない。』というのが、市長の回答でした。

私は、長船町公民館をつぶすことについては、何度も何度も取り上げてきました。一昨年7月17日に福里に公民館を守る会より、市長・議長あてに署名を添えた要望書が提出されました。1,175名もの署名が添えられた市民の願いのこめられた要望書です。

その中で、長船地区対象の庁舎再編計画基本構想説明会が8月9日にありました。市からの説明のあと、2時間にも及ぶ熱い質疑応答が繰り広げられました。

あれ以来は、一度も地区の住民に対して、庁舎再編計画についての説明はなされていません。

そして、あの時は、ゆめトピア長船に仮庁舎を建てるとというのが説明でした。

万が一にも、それさえなくずしになかったことにするのであれば、きちんとした説明が必要だと思います。これからも、しっかり訴え続けていきたいと思っています。

また、皆さまの声もぜひ、お聞かせください。

【くさかとしこ】が見た瀬戸内市の行政！

それでは、行政報告をさせていただきます。

2月議会では地元議員から黒井山のトイレ工事を削減する修正案が提出され、賛成多数で予算を削減するということがありました。残りの部分は全員賛成で可決しました。

当初予算を家計簿になぞらえて、わかりやすく説明したいと思います。



瀬戸内市の
家計簿！
(一般会計)

一般会計 **195.5**億円
～合併後最大規模予算 10億貯金繰入～
特別・事業会計 **178.5**億円

今回の予算の中で大きなものは

- ・JR3駅の整備に 約7億6千万円
- ・有害鳥獣対策に 約3千万円
- ・病後病後児施設整備に 約1,500万円
- ・長船消防分駐所新設に 約2億5千万円
- ・行幸小学校大規模工事に 約6億円
- ・国府小学校プール解体に 約3千万円
- ・ゆめトピア長船外壁改修等に 約1億2千万円
- ・庁舎再編 再検討に 約560万円
- ・牛窓庁舎外壁改修等に 約1億円
- ・牛窓公民館耐震工事に 約2億3千万円
- ・豆田工業団地からバイパス開田線整備に 約1億円
- ・教育情報機器整備に 約6億6千万円
- etc...

詳細は、議会だより・広報にも記載されていますので、そちらもご覧ください。

今年の地方交付税は、6千万円減額の、37.5億円
市債のうち、
財政調整基金の取り崩し→8億円
減債基金の取り崩し→2億円

収入

| | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------------|-------------|-------------|
| 給料 (億円) | | |
| 基本給(市税) | 55.1(30.0%) | 58.3(29.8%) |
| 諸手当(地方交付税など) | 47.3(25.8%) | 48.4(24.8%) |
| 奨学金、助成金(国・県支出金) | 25.3(13.8%) | 28.1(14.4%) |
| ローンの借入金(市債) | 22.7(12.4%) | 29.7(15.2%) |
| パート収入など(その他) | 33.0(18.0%) | 31.0(15.8%) |
| 合計 | 183.4億円 | 195.5億円 |

支出

| | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------------------|-------------|-------------|
| 家族の医療費、保育料など(扶助費) | 28.4(15.5%) | 29.0(14.8%) |
| 車や家電製品の購入費など(普通建設事業費) | 30.3(16.5%) | 34.4(17.6%) |
| 食費(人件費) | 30.4(16.6%) | 36.2(18.5%) |
| 光熱費、水道代、通信費、家賃など(物件費) | 28.8(15.7%) | 27.2(13.9%) |
| ローンの返済(公債費) | 17.8(9.7%) | 18.3(9.4%) |
| 子どもへの仕送り(繰出金) | 16.8(9.2%) | 17.2(8.8%) |
| その他(補助費など、その他) | 30.9(16.8%) | 33.2(17.0%) |
| 合計 | 183.4億円 | 195.5億円 |